

平成 29 年 10 月 10 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏  
電話番号 03-5572-0233

インドネシア共和国 サルーラ地熱 IPP 事業  
第 2 号機の商業運転開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社であるインペックスジオサーマルサルーラ社を通じて、インドネシア共和国北スマトラ州サルーラ地区で世界最大規模（※1）の地熱発電所を建設/運営するサルーラ地熱 IPP（※2）事業（以下、本プロジェクト）において、第 1 号機の商業運転を開始（※3）しておりますが、今般、第 2 号機の商業運転を開始いたしましたので、お知らせいたします。

第 2 号機の商業運転開始により、本プロジェクトからの総出力は、出力約 110MW の第 1 号機と合わせて約 220MW となります。

（※1）総出力約 330MW でインドネシアの 210 万世帯を賄う発電量

（※2）IPP（Independent Power Producer）：独立系発電事業者

（※3）2017 年 3 月 22 日付で公表：[http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2017/20170322\\_a.pdf](http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2017/20170322_a.pdf)



第 2 号機の商業運転開始の様子

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

本プロジェクトは、2014年より総出力約330MWの地熱発電所の建設を開始し、本年3月に第1号機の商業運転を開始しました。その後、第2号機、第3号機の段階的な商業運転開始に向けた建設工事等を進め、第2号機の商業運転開始に至りました。第2号機で発電する電力は、第1号機と同様に、インドネシア国営電力公社（以下、PLN社）へ30年間にわたり売電される予定です。本プロジェクトによる新たな電力供給を通じて、今後電力需要の増加が想定されるインドネシア経済に貢献することが期待されます。

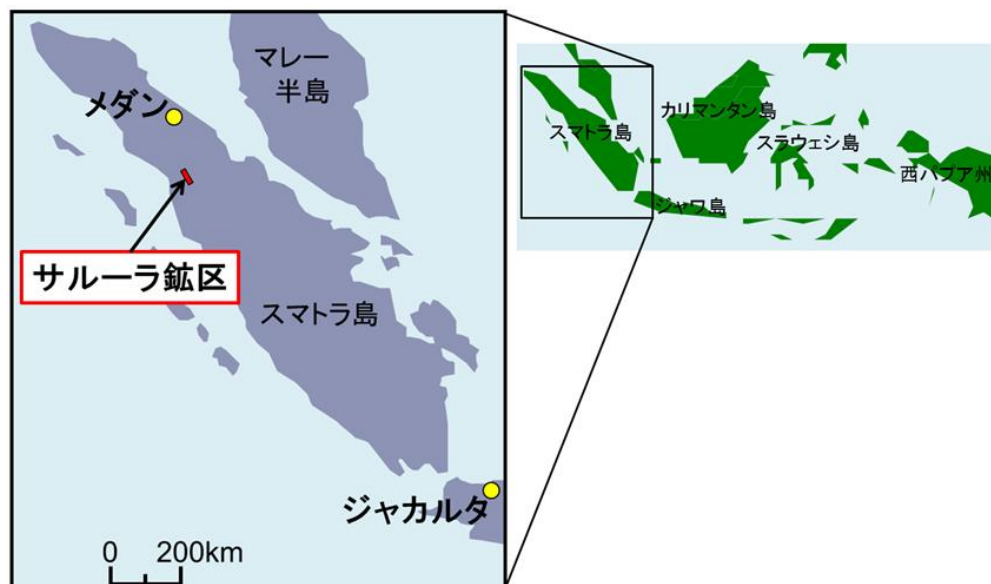
本プロジェクトは、当社、伊藤忠商事株式会社、九州電力株式会社、インドネシアのメドコ・パワー・インドネシア社、米国のオルマット・テクノロジーズ社がそれぞれ保有する子会社及び共同で出資する事業会社（サルーラオペレーションズ社）を通じて、引き続き、本プロジェクトからの総出力約330MWを目指し、2018年の第3号機の商業運転開始に向けて建設工事を進めてまいります。

当社は、今後も社会に貢献する総合エネルギー企業として、INPEX 中長期ビジョンに掲げた成長目標の一つである「再生可能エネルギーへの取り組みの強化」に積極的に取り組んでまいります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微です。

以上

### 【本プロジェクトの位置図】



# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

### 【本プロジェクトの概要】

項目	内容
建設地	インドネシア 北スマトラ州 サルーラ地区
出力	330MW (3ユニット)
出資者	九州電力株式会社 25%
	伊藤忠商事株式会社 25%
	PT Medco Power Indonesia 18.9975%
	当社 18.2525%
	Ormat Technologies, Inc. 12.75%